

在宅型ホスピス「きぼうのいえ」施設長・山本雅基さんに聞く 庶民のための在宅ホスピスケア—その必要性和看取りの実際

東京・台東区のドヤ（簡易旅館）街^{さんや}山谷。行き場を失い、数奇な人生を送ってきた人たちが多く集う街。そんな山谷地区のど真ん中に、2002年、在宅型ホスピス「きぼうのいえ」は設立された。施設長の山本雅基さんの「行き場のない、見捨てられた人たちのためのホスピスをつくりたい」との熱い思いを一心に、看護師である妻・美恵さんをはじめ、多くの方の支援をうけ、設立。丸4年が経った。当ホスピスには、アロマテラピーやリフレクソロジー、ミュージック・サナトロジー等々、多くのケアワーカーがスタッフボランティアとして入居者への癒し活動を行なっている。

昨年は、山本さんの著書で、この施設の様子を綴った『東京のドヤ街山谷でホスピス始めました。「きぼうのいえ」の無謀な試み』（実業之日本社）を発売し、反響をよんだ。このほど、著者の山本さんとお会いする機会をいただいた。そこで現在の活動についてお話を伺った。（編集部）

単身者のための在宅型ホスピスの必要性

山本さんが施設長を務める在宅型ホスピス「きぼうのいえ」は通常の在宅型ホスピスと異なる点がある。それは、入居者の多くが、身寄りがない、または、家族離散や障害等により、路上生活を経験した単身者である点。また、病気を特定せず、がんやHIV以外の中長期的な療養を有する方も入居の対象にしていることも特異的なところだ。入居者の生活費用は、入居者の生活保護費をあて、寄付は運営費にあてる。この手の在宅型ホスピスは国内にここだけだそうである。

しかし、今後はこのような施設はこの山谷だけのことではなく、全国的に必要になっていくと山本さんは予測する。高齢化が進み、かつ少子化問題も併発している現状において、今後、更なる単身の高齢者の増加は容易に予想される。「2007年問題を迎え、これから先の10年で、今以上に在宅での介護、ホスピスケアが必要不可欠になってくるでしょう。私たちのこの「きぼうのいえ」が、コミュニティに根付く在宅ホスピス施設として新しいモデルケースになってくれればいいのです」と山本さん。

自分の人生に折り合いをつけ、 旅立つことができる看取りの場を目指して

設立当初は、山本さんの生真面目さが裏目に出て、自身が何度も病気で倒れたという。しかし、今

年5年目となる現在は、「どんなことでも笑いかえるタフさ」、そして「何事もチームで考え、対応する」ことを心得た。たとえ激しい反応が返ってきて、「そうきましたかー」と意外な反応を楽しむようになりました。だからだろうか、施設内のスタッフはとっても明るく、昔どこかで会ったことがあるかのごとく、気さくな接し方をする方ばかりだ。

また、外出も自由で、例えば近くのパチンコ店へもOKだという。コミュニティに根付くホスピスの特権でもあり、その人を尊重し、時間の過ごし方にも寛大な配慮を行なっている。

今までできなかった当たり前のことを、一緒に楽しむ。ちょうどこの季節には、花見にみんなで出かける。今まで、ブルーテントにいた側だった入居者も少なくない。

著書には、入居者との悪戦苦闘の様子が鮮烈に書かれている。スタッフに優しくされるほど、おびえる方、怒りだけが感情を表現することができない入居者も少なくない。そういった愛情の受け止め方が困難な入居者へ、家族の目線になって、スタッフが丸となって接している。「ひとりじゃないんだ。こんな俺でも誰かの記憶に残ることができた」との思いを抱き、旅立ってほしい」と山本さんは願っている。結果、死を受容し、「ありがとう」の言葉で旅立つ方がほとんどそうだ。人をそこまでかえる“愛”ある対応。「マザーテレサの建てたホスピス“死を待つ人々の家”の日本版をつくりたいんです」と思いを語る山本さん。着実に一歩ずつその思いに近づいている。

取材協力

山本雅基（やまもとまさき）

ホスピス「きぼうのいえ」施設長。1985年 日航機墜落事故のニュースに接したことをきっかけに聖職者を志し、1995年 上智大学神学部を卒業。卒業後、「NPO法人ファミリーハウス」の事務局長を務める。2002年4月 緊急一時保護施設「なかよしハウス」（全11室11床）を開設。2002年10月 在宅ホスピスケア対応型集合住宅「きぼうのいえ」（全21室21床）を開設。

〈問い合わせ〉きぼうのいえ Tel.03-3875-7523
〒111-0022 東京都台東区清川2-12-12
http://www.kibounoie.info/
E-mail:kibounoie777@mbm.nifty.com



余命わずかな身寄りのない人々を、笑いど大きな愛で支える終の住み家。ホスピス「きぼうのいえ」での涙と笑いのエピソードが満載。

山本雅基 著
（実業之日本社 2006年）